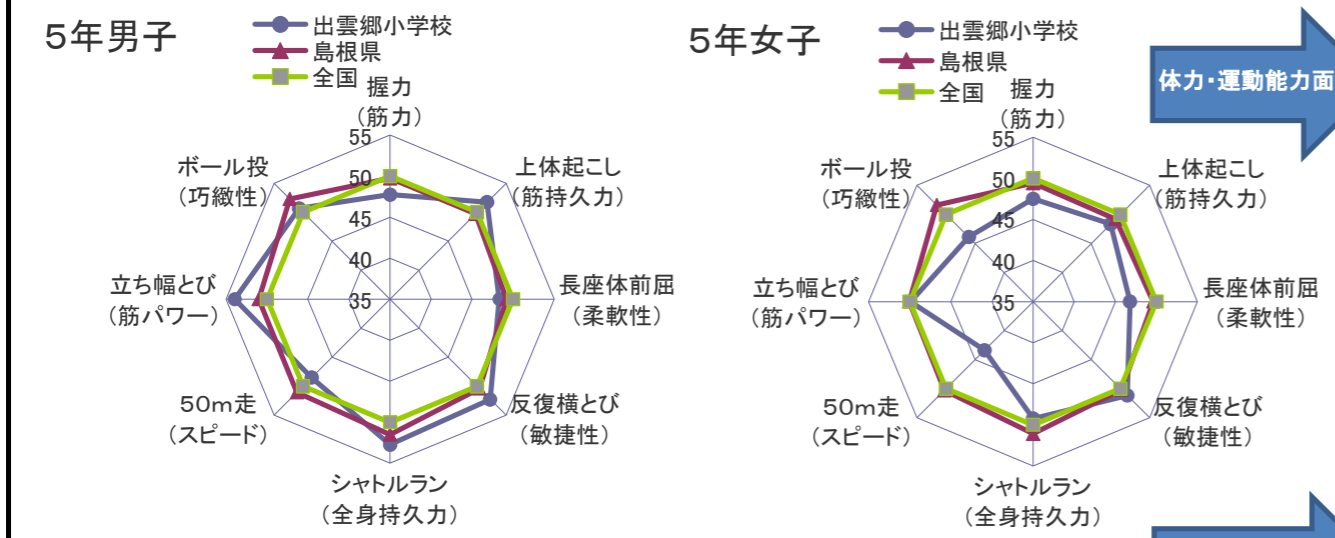
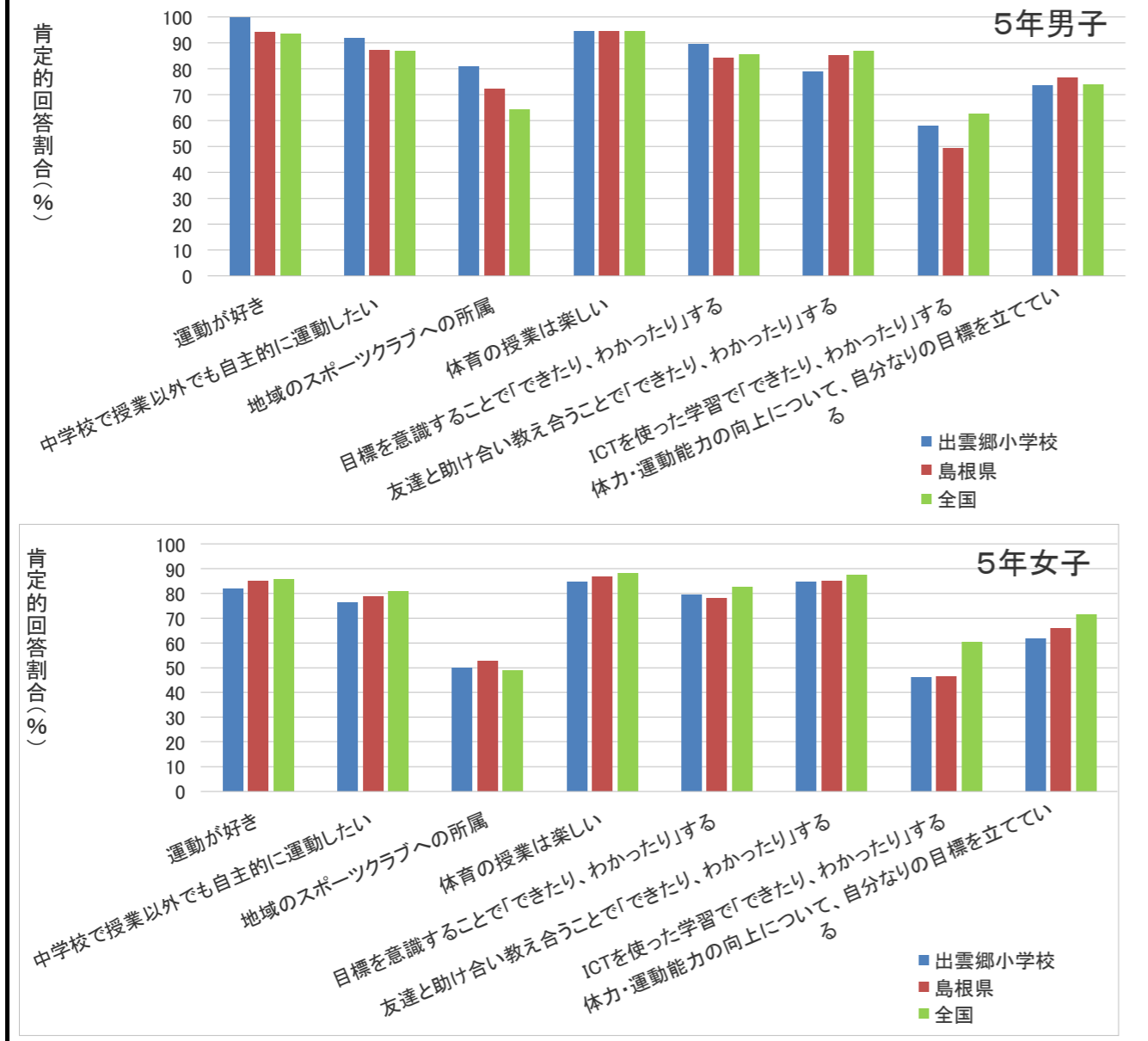


(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果  
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シヤトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-2.3	1.7	-1.7	2.3	2.7	-1.5	3.9	0.7
女子	-2.5	-1.7	-3.2	1.2	-0.7	-6.6	-0.1	-3.9

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】  
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	6.6	5.0	16.7	0.1	3.9	-7.8	-4.7	-0.2
女子	-3.7	-4.3	1.2	-3.5	-3.1	-2.8	-14.0	-9.8

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】  
弱み ← → 強み

(3) 令和8年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
  - ・校内研究と関連付けた取り組みとして、今年度行っている「あだかえりフレッシュ体操」(姿勢運動)を継続して行うとともに子どもの実態を考え、体操内容を再考して実施する。
  - ・「あだかえりフレッシュ体操」の取組を評価し、校内全体で体操の意義や取り組み方を共有する。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
  - ・各学年で年間を通した授業計画を立て、学習内容に偏りがでないように子どもの体力向上を目指す。
  - ・児童が活動の目的を意識し、意欲的に取り組み、自身の変容を振り返ることができるように、学習カードやタブレットの活用を各学年部で話し合う。
  - ・運動量の確保ができるような体育授業づくりを提案し、共有する。(導入時に五種目歩行・持久走を行う等)
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
  - ・「あだかえりフレッシュ体操」の継続的実施、評価、改善を行う。
  - ・なわとび大会など全校が参加する取り組みを実施する。
  - ・体育委員会による「スポーツ交流」を学期に一回程度開催し、他学年とも交流する機会を作る。
  - ・休み時間に使用できる運動用具の充実を図り、安全に使いやすい環境づくりを行う。
  - ・外遊びや練習など児童のがんばりや取り組みを記録し、評価できる「鉄棒、なわとび」のカードを活用する。
- ④ 家庭・地域・近隣の学校・園等との連携、情報発信について
  - ・学校だよりや保健だよりの中で、運動や健康に関するテーマを取り上げ、啓発を図る。
  - ・学園連絡会等を通して、体力や健康に関する課題を共有し、連携した取組の推進を図る。